

産科・婦人科卒後臨床研修カリキュラム

人数を占める女性の生理的、形態的、精神的特徴、あるいは特有の病態を把握しておくことは、他領域の疾病に罹患した女性に対して適切に対応するためにも必要不可欠であり、また分娩に対して適切な処置を行うこともプライマリーケアとして求められている。そのことを十分に理解し研修にあたらねばならない。

行動目標

分娩及び産婦人科疾患の診断治療に対する基礎知識と手技の修得を目的とする。研修医は外来、病棟、手術室に勤務し、基礎的診察法、診断法、治療法について指導医のもと研修を行う。産婦人科特有の患者及びコメディカル・スタッフとのコミュニケーションに配慮し、その立場を理解し信頼関係を形成する。

経験目標

A. 経験すべき診察法・検査・手技

1. 基本的な身体診察法

内診、腔鏡診による女性の内・外性器の所見
妊娠、及び加齢（新生児期から老年期）による変化
正常及び異常新生児の診察

2. 基本的な臨床検査

膣分泌物の肉眼的及び顕微鏡的所見
子宮頸部及び子宮内膜の細胞診ならびに組織診
周産期及び婦人科疾患の超音波検査
子宮卵管造影、腎盂造影、婦人科良性疾患及び悪性疾患のMRI画像法
各種腫瘍マーカーの特徴、婦人科内分泌学的検査

3. 基本的手技

正常及び異常分娩の取り扱い（分娩介助、会陰切開及び縫合、吸引分娩等）
良性婦人科手術及び腹式帝王切開の介助
新生児のプライマリーケア

4. 基本的治療法

正常及び異常妊娠、分娩、産褥の管理
産科及び婦人科手術時の術前・術後管理
急性期及び慢性期の婦人科疾患の治療法

婦人科悪性腫瘍の化学療法

5. 医療記録

産婦人科カルテの記載法

B. 経験すべき症状・病態・疾患

1. 頻度の高い症状

性器出血、月経異常、帯下・外陰掻痒、下腹痛、腰痛、腹部膨満感、排尿障害

2. 緊急を要する症状・病態

産科的疾患：各種流産、子宮外妊娠、常位胎盤早期剥離、子癇、前置胎盤の外出血、胎児仮死、弛緩出血、切迫早産、婦人科的疾患：急性腹症を伴う婦人科感染症、卵巣腫瘍の頸捻転、卵巣出血、子宮出血

3. 経験が求められる疾患・病態

産科的疾患：妊娠悪阻、子宮頸管無力症、周産期感染症、妊娠中毒症、偶発合併症妊娠、前期破水、多胎妊娠、前置胎盤、微弱陣痛、子宮復古不全、産褥熱、婦人科的疾患：婦人科感染症、不妊症、更年期及び老年期の各種疾患、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮頸癌及び体癌、良性及び悪性卵巣腫瘍

C. 特定の医療現場の経験

婦人科診察の特殊性

産婦人科救急の経験及び高度医療機関への搬送時の対応

婦人科悪性腫瘍等の終末期の管理